

HOME > 入試・受験 > 都立高入試英語スピーキングテスト、民間試験GTECとそっくり 都教委は「似ていても

都立高入試スピーキングの不可解

都立高入試英語スピーキングテスト、民間試験GTECとそっくり 都教委は「似ていても違う」

高校入試・受験 英語教育 教育改革

© 2022.03.17



石田 かおる



山下 知子



今年11月27日に初めて実施される東京都立高校入試の英語のスピーキングテスト「ESAT-J」。3回のプレテストを見た教員らから、ベネッセコーポレーション（岡山市）が行う英語テストGTECのうち、中学2、3年レベルのGTEC-Coreと「酷似している」、「GTECを受けて準備する子が有利になる」との指摘があがっています。ESAT-Jの事業主体は東京都教育委員会で、ベネッセと「共同実施」する形。都の主体性はどこにあるのか、入試の公平性は保てるのか、都教

委に取材しました。（写真は東京都庁）

「まんまやん！」 「これはGTECだ」

「GTECに変えた方がいいのかな」。東京都内の区立中学校に勤める30代の女性教員はそう話す。2月、昨秋行われたESAT-Jのプレテストの問題を見た時の第一印象だ。

今年度まで勤務校では、生徒たちに英検（実用英語技能検定）を案内してきた。GTECは学校単位でしか受けられない。「試験において慣れはとても大事。ぱっと見て、生徒が『これ、やったことある』と感ずるのであれば、GTECにした方がいいと思う」と話す。

区立中1年の男子生徒は3月、ESAT-Jのプレテスト（プレテストは[こちら](#)）と、ネット上にあるGTECのサンプル問題（サンプル問題は[こちら](#)）に挑戦してみた。日本語の問題文も似ていて、「どっちがESAT-JでどっちがGTECなのか、交ぜられたら分からない。まんまやん！」。生徒の中学校ではGTECを受験していない。「GTECを受けている学校は（都立高入試）対策になる。ずるくね？」と話した。

	ESAT-J	GTEC
PartA（パートA）の冒頭説明	PartAは、全部で2問あります。聞いている人に、意味や内容が伝わるように、英文を声に出して読んでください。はじめに準備時間が30秒あります。録音開始の音が鳴ってから解答を始めてください。解答時間は30秒です。	パートAは、全部で2問あります。聞いている人に伝わるように、英文を声に出して読んでください。はじめに準備時間が30秒あります。解答時間は30秒です。

（ESAT-J 第3回プレテストのPartAの問題とGTEC-Coreのサンプル問題パートAの問題冒頭＝都教委とGTECのホームページから）

区立中学校で英語を教えていた元教員の女性も「GTECそのものではないか」と言う。問題構成と問題傾向、採点基準を見て、「一緒だ」と思ったという。「民間のノウハウを生かすということは理解できるとしても、これでは共同開発とは言えない。丸投げと言われても仕方ないレベルなのでは？ これだけ同じだと分かれば、中学校も保護者も生徒もGTECを練習のために受ける方向に動くと思う。都の責任で入試問題を作ることに信頼を置いてきたが、それは完全に崩れた」と話す。

九州地方の公立高校教員の男性は、2019年に行われた第1回のプレテストの内容と採点基準、結果の出し方を見て思った。「これはGTECだ」

「いずれ高校や地方にも波及してくるはず」と、ESAT-Jの動きを注視してきた。「GTECは、実態としてESAT-Jの模試にあたってしまうのではないか」と言う。

HOME > 入試・受験 > 都立高入試英語スピーキングテスト、民間試験GTECとそっくり 都教委は「似ていても

都立高入試スピーキングの不可解

都立高入試英語スピーキングテスト、民間試験GTECとそっくり 都教委は「似ていても違う」

高校入試・受験 英語教育 教育改革

© 2022.03.17



石田 かおる



山下 知子



出題形式・数、準備・解答時間も同じ

都教委は16年の都英語教育戦略会議の提言を受け、英語スピーキングテストの導入を決めた。当初は「中学校英語スピーキングテスト Supported by GTEC」という名称でスタートしたが、21年3月に「ESAT-J (English Speaking Achievement Test for Junior High School Students)」にするとした。

コロナ禍のため実施は1年延期され、22年11月27日、都内の公立中の3年生ら約8万人を対象に行われる。プレテストはこれまでに3回実施された。

都教委はベネッセと協定を結び、事業主体は都教委、運営主体はベネッセという位置づけで「共同実施」する。採点はフィリピンで行うという。

ESAT-Jの結果はA～Fの6段階で示され、それを20点満点で換算した点数を、学力検査（700点満点）と調査書の点数（300点満点）に加点し、計1020点満点で可否を判断する。ESAT-Jを受けなかった場合は仮の点数を、学力検査の英語の点数をもとに算出する。

ESAT-Jの3回目のプレテストとGTEC-Coreのスピーキングの問題を見ると、問題構成はともに4パート。それぞれの出題形式はほぼ同じ。出題数と各パートの準備時間や解答時間も全く同じだった。

	ESAT-J 出題形式	出題数	GTEC 内容	出題数
PartA	英文を読み上げる	2	音読	2
PartB	質問を聞いて応答する・意図を伝える	4	質問を聞いて応答する	4
PartC	ストーリーを英語で話す	1	ストーリーを英語で話す	1
PartD	自分の意見を述べる	1	自分の意見を述べる	1

(ESAT-Jは、2月17日発表の都教委資料から。GTECは、GTECのホームページから)

	ESAT-J		GTEC	
	準備時間	解答時間	準備時間	解答時間
PartA	30秒	30秒	30秒	30秒
PartB	10秒	10秒	10秒	10秒

PartC	30秒	40秒	30秒	40秒
PartD	1分	40秒	1分	40秒

(ESAT-Jは、2月17日発表の都教委資料から。GTECは、GTECのホームページから。)

採点基準も「酷似」

取材を進めると、酷似しているのはテストの内容だけではないようだ。都教委が発表している「採点基準」と、GTECの教員用帳票冊子内にある「観点別採点結果の見方」も似通っている。

ESAT-J 採点基準	GTEC 観点別採点結果の見方
コミュニケーションの達成度 (2段階)	Goal Achievement (2段階)
言語使用 (5段階)	語い・文法 (5段階)
発音・流ちょうさ／第2回からは音声 (4段階)	発音・流暢さ (4段階)

(ESAT-JとGTECの採点基準。ESAT-Jは第1回プレテストの採点基準資料から。GTECは2021年実施分の「教員用帳票冊子」から)

加えて、採点基準に書かれている内容を読み比べると、ESAT-Jの「コミュニケーションの達成度」のPartBとGTECの「Goal Achievement」のパートBは同内容だった。

また、ESAT-JのPartCは「各コマのイラスト（事実）の内容を伝えることができている」に対し、GTECのパートCは「各コマの内容を伝えることができている」。

他のブロックについても言葉の言い換えや追記などもあるが、重複する部分が多い。

ESAT-J	
PartB	各設問の問いかけに応じた内容を伝えることができている。
	相手に適切な行動を促すことができている。（第2回プレテストから追加）

PartC	各コマのイラスト（事実）の内容を伝えることができる。
PartD 意見	意見（自分の考え）を伝えることができる。
PartD 理由	意見（自分の考え）をサポートする理由を伝えることができる。
GTEC	
パートB	各設問の問いかけに応じた内容を伝えることができる。
パートC	各コマの内容を伝えることができる。
パートD 意見	意見を伝えることができる。
パートD 理由	意見をサポートする理由を伝えることができる。

（ESAT-Jの「コミュニケーションの達成度」とGTECの「Goal Achievement」の採点基準から一部抜粋。ESAT-Jはブレテストの採点基準資料から。GTECは2021年実施分の「教員用帳票冊子」から）

▶ **次ページ** | 都教委「似ているかどうかは問題ではない」

HOME > 入試・受験 > 都立高入試英語スピーキングテスト、民間試験GTECとそっくり 都教委は「似ていても

都立高入試スピーキングの不可解

都立高入試英語スピーキングテスト、民間試験GTECとそっくり 都教委は「似ていても違う」

高校入試・受験 英語教育 教育改革

© 2022.03.17



石田 かおる



山下 知子



都教委「似ているかどうかは問題ではない」

「似ている」との声に対し、都教委の担当者は「似ていたとしても違う」と言う。「(ベネッセの)基盤自体は活用するが、都教委の出題方針を作り、測りたい能力をタスクとして設定し、都教委の監修のもとで作っている」と話す。「似ているというが、音読や応答、ストーリーを話す問題は他の英語民間試験で

も採り入れられていて、GTECだけではない」

担当者は「測りたい力を測れているかが大事。中学校の授業でやってきたこと、子どもたちに身につけてほしいもの、これらが測れているかどうか大事で、似ているかどうかは問題ではないのでは？」と言う。「都の事業なので、妥当性のないことに対して無理して推し進めることはない。都教委としてどこに出しても恥ずかしくないものを出している。私たちが（民間事業者とは）違う目で見、瑕疵（かし）がないかどうか見ている」

また、ESAT-JとGTECのテスト内容が酷似していた場合、入試の公平性を損なうのではないかと尋ねたが、都教委は「協定等にて個人情報管理の徹底及び禁止行為を規定し、公平性・中立性を担保している」「お互いの良さを、協議しながら、新しいものを作り上げている」とし、明瞭な回答はなかった。ベネッセとどのような契約を結んでいるかについては「回答は難しい」とした。

EAST-Jの採点には、GTECが採り入れている「IRT（Item Response Theory）」と呼ばれる統計手法を用いたスコア算出も使われる。IRTは、難易度の異なる複数のテストでの点数を比べる際や、経年変化を見ていく時に有効とされ、多くの英語民間試験で導入されている手法だ。

GTECの採点基準（vol.2 2021.1）の記載には、IRTを用いることで、「同じ正解数や素点合計点であっても正解した問題や観点によってスコアは異なります」「いくつか正解していてもスコアが0点になることや、すべての観点が正解ではなくても満点スコアが出る場合があります」とある。

都教委によると、受験生に示されるのはIRT処理を経たスコア。都内の市立中学校に勤める50代の英語教諭の男性は「同じ日に一斉に同じテストを受けるのに、なぜこういう処理が必要なのか分からない。また、こうしたことがどこまで中学校や保護者、生徒本人に伝わり、理解を得ているのか」とため息をつく。

前出の九州の公立高校教員はこう憤る。「都教委が自分でテストを作り、試験会場や採点の『ハード面』のサポートがベネッセということなら良かったし、私も賛成していたと思う。しかし、現段階のものを見ると、都教委の主体性はどこにあるのだろうか、とってしまう」

記事を書いた人



石田 かおる

教育ライター

広告代理店勤務を経てインドネシア・ジャカルタで生活。帰国後、フリー。NHKの紀行番組や生活情報番組の企画・構成に従事。「週刊東洋経済」「週刊誌AERA」などで教育、食、趣味、ライフスタイルに関する記事を執筆。教育分野では大学入試改革、教員の働き方、校則、部活動などを多く取材。



山下 知子

朝日新聞EduA 元編集長

1977年、浜松市生まれ。福岡本部報道センター、東京本社社会部教育担当などを経てEduA編集部へ。2021年7月～22年8月、朝日新聞EduA編集長。同年9月から東京本社社会部。



この連載をもっと読む

都立高入試スピーキングの不可解



都スピーキングテスト、英語教育・テスト理論の専門家らが入試への利用中止を要望

2022.10.27

都スピーキングテストは「アチーブメントテスト」としても入試としてもダメ。5億円が

2022.09.28

スピーキングテストに保護者の怒り（下）「事業の停止を」住民監査請求へ 個人情

2022.09.16

スピーキングテストに保護者の怒り（中）「1教科分の配点」「入試間際の成績送付」は理不尽